

島根県の経済動向

平成24年11月分

統 第 9 7 号 の 1 0
平成 2 5 年 1 月 2 8 日

政策企画局統計調査課

—島根県の経済は、横ばい圏内ながら一部に弱い動きがみられる—

生産活動は横ばい圏内の動きとなっている。雇用情勢は持ち直しの動きが足踏みしている。個人消費は横ばい圏内ながら一部に弱い動きがみられる。投資動向は下げ止まっている。

生産活動	→	～横ばい圏内の動き～	鉱工業生産指数（季節調整済指数）は97.8となり、前年同月比は6.7%と2か月連続で前年を上回った。大口電力需要実績は▲0.7%と12か月連続で前年を下回った。 生産活動は、横ばい圏内の動きとなっている。
雇用情勢	→	～持ち直しの動きが足踏み～	有効求人倍率は0.92倍と3か月連続で下降、新規求人数は10.2%と2か月連続で前年を上回った。所得面では、現金給与総額は3か月連続で、きまって支給する給与は、5か月連続で前年を下回った。 雇用情勢は、持ち直しの動きが足踏みしている。
個人消費	→	～横ばい圏内ながら一部に弱い動き～	大型小売店販売額は0.5%と3か月ぶりに前年を上回り、ホームセンター販売額▲1.5%と2か月連続で、家電量販店販売額は▲1.4%と2か月連続で前年を下回った。新車登録台数は▲0.7%と3か月連続で前年を下回った。 個人消費は、横ばい圏内ながら一部に弱い動きがみられる。
投資動向	→	～下げ止まっている～	建築着工床面積（非居住用）は20.8%と3か月連続で、公共工事請負金額は10.0%と2か月連続で前年を上回り、新設住宅着工戸数は▲38.8%と4か月ぶりに前年を下回った。 投資動向は、下げ止まっている。
企業倒産	→	～倒産件数8件～	企業倒産件数は8件。うち建設業は2件、製造業は0件。
金融情勢	→	～貸出金残高は対前年3.0%増～	銀行預金残高は53か月連続で前年を上回った。 銀行貸出金残高は27か月連続で前年を上回った。
物 価	→	～対前年0.4%上昇～	消費者物価指数（生鮮食品を除く総合指数）は100.3となり、対前年同月比0.4%と5か月連続で上昇となった。
その他 (参考)	島根県景気動向指数（CI） （平成25年1月28日公表）		C1先行指数は71.8となり、8か月ぶりに上昇となった。 C1一致指数は96.5となり、3か月ぶりに下降となった。
	法人企業景気予測調査結果 （平成24年12月10日公表）		財務省松江財務事務所の景況判断BSIは、現状（24年10～12月期）は▲6.9%ポイントと「下降」超幅が縮小している。 〔先行きについては、翌期（25年1～3月期）に「下降」超幅が拡大し、翌々期（25年4～6月期）は「上昇」超に転じる見通しとなっている。〕

経 済 指 標		前年同月比（*を除く）%					
		6月	7月	8月	9月	10月	11月
生産活動	* 鉱工業生産指数（季節調整済指数）	94.4	94.1	90.5	93.7	98.4	97.8
	" （原指数）	▲ 0.3	6.1	▲ 4.6	▲ 1.2	6.7	6.7
	大口電力需要実績	▲ 2.7	▲ 1.0	▲ 1.8	▲ 2.7	▲ 1.6	▲ 0.7
雇用情勢	* 有効求人倍率（倍）	0.95	0.95	0.97	0.96	0.94	0.92
	新規求人数	▲ 5.2	8.2	10.5	▲ 0.8	3.4	10.2
	常用労働者数	▲ 1.9	▲ 2.6	▲ 2.6	▲ 3.0	▲ 3.0	▲ 2.9
	現金給与総額	8.0	▲ 8.8	2.2	▲ 2.7	▲ 1.9	▲ 2.9
	きまって支給する給与	2.0	▲ 0.1	▲ 1.0	▲ 2.2	▲ 1.3	▲ 1.8
	所定外労働時間（製造業）	▲ 13.9	▲ 9.9	▲ 10.8	▲ 16.5	▲ 28.7	▲ 28.5
個人消費	大型小売店販売額	▲ 1.5	▲ 2.5	1.2	▲ 0.4	▲ 1.0	0.5
	ホームセンター販売額	▲ 0.7	▲ 0.9	3.1	0.0	▲ 4.1	▲ 1.5
	家電量販店販売額	▲ 36.3	▲ 12.7	7.0	2.8	▲ 10.0	▲ 1.4
	乗用車新車登録台数	32.6	37.9	13.6	▲ 5.8	▲ 15.7	▲ 0.7
	出雲空港利用者数	10.2	12.2	10.7	15.1	0.9	8.0
投資動向	建築着工床面積（非居住用）	▲ 24.3	▲ 46.8	▲ 14.5	22.8	36.0	20.8
	公共工事請負金額	▲ 26.4	10.7	10.9	▲ 27.1	13.4	10.0
	新設住宅着工戸数	15.7	▲ 43.8	17.2	18.7	0.0	▲ 38.8
企業倒産	* 企業倒産件数（件）	0	5	6	5	5	8
	* 負債総額（百万円）	0	216	515	274	328	810
金融情勢	銀行預金残高	2.4	0.6	1.6	2.8	1.5	4.0
	銀行貸出金残高	2.8	2.4	3.0	2.7	3.2	3.0
物 価	* 消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）	99.8	100.2	100.4	100.4	100.5	100.3
そ の 他	* 景気動向指数（CI先行指数）	77.1	77.0	72.4	71.2	62.4	71.8
	* 景気動向指数（CI一致指数）	96.6	104.3	94.4	94.9	98.1	96.5

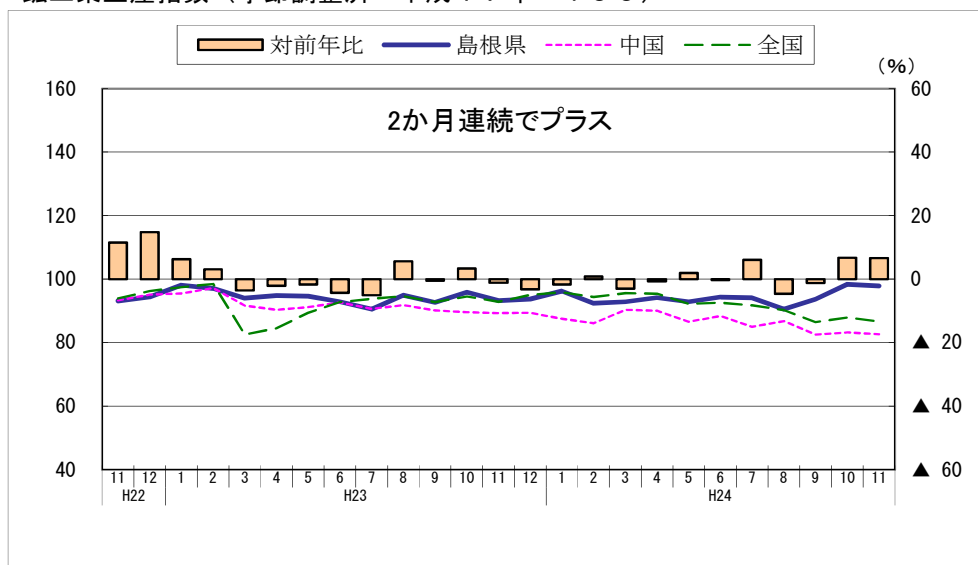
経済動向に関する他機関の公表資料（抜粋）

全 国	「月例経済報告（内閣府）」平成25年1月23日
	<p>景気は、弱い動きとなっているが、一部に下げ止まりの兆しもみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 輸出は、このところ緩やかに減少している。生産は、下げ止まりの兆しがみられる。 ・ 企業収益は、製造業を中心に弱含んでいる。設備投資は、弱い動きとなっている。 ・ 企業の業況判断は、慎重さがみられるものの、一部に改善の兆しもみられる。 ・ 雇用情勢は、依然として厳しさが残るなかで、このところ改善の動きに足踏みがみられる。 ・ 個人消費は、このところ底堅い動きとなっている。 ・ 物価の動向を総合してみると、緩やかなデフレ状況にある。 <p>先行きについては、当面は弱さが残るものの、輸出環境の改善や経済対策の効果などを背景に、再び景気回復へ向かうことが期待される。ただし、海外景気の下振れが、引き続き我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、雇用・所得環境の先行き、デフレの影響等にも注意が必要である。</p>
中 国 地 方	「中国地域の経済動向（中国経済産業局）」 平成25年1月22日
	<p>～ 弱含み ～</p> <p>中国地域の経済は、個人消費は横ばいであるものの、引き続き、生産が低下傾向など、全体として弱含み。為替相場の円安傾向などを受け、先行きに期待感がみられる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生産動向…低下傾向 2. 景況感…弱含みながら持ち直しの兆し 3. 産業用電力需要…減少 4. 物価…下落 5. 個人消費…横ばい 6. 設備投資…やや減速感 7. 建設動向…公共工事、住宅建設ともに増加 8. 雇用動向…厳しい状況変わらず、足踏み 9. 企業倒産…件数は減少、負債額は増加 10. 貿易…輸出、輸入ともに減少
山 陰 地 方	「山陰の金融経済動向（日本銀行松江支店）」 2012年12月28日
	<p>山陰両県の景気は、弱めに推移している。すなわち、生産は、海外向け需要などの減速した状態が続く中で、弱めとなっている。個人消費は、弱めの動きがみられている。公共投資は、持ち直しの動きもみられるが、引き続き水準は低い。設備投資は、全体としては緩やかに持ち直しているが、一部でやや慎重化の動きもみられる。住宅投資は、引き続き水準は低いものの、持ち直しつつある。この間、雇用・所得情勢は、厳しい状況にある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産は、海外向け需要などの減速した状態が続く中で、弱めとなっている。 ・ 個人消費は、弱めの動きがみられている。 ・ 公共投資は、持ち直しの動きもみられるが、引き続き水準は低い。 ・ 設備投資は、全体としては緩やかに持ち直しているが、一部でやや慎重化の動きもみられる。 ・ 住宅投資は、引き続き水準は低いものの、持ち直しつつある。 ・ 雇用・所得情勢は、厳しい状況にある。
山 陰 地 方	「山陰経済動向（山陰経済経営研究所）」 2012年12月27日
	<p>設備投資は回復しているものの、個人消費や生産は低調に推移するなど、総じて減速傾向にある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共投資は、水準は低いながらも持ち直しつつある。 ・ 設備投資は、全産業でも前年度を上回る計画（日銀短観12月）。 ・ 住宅建設は、一進一退の動きとなっている。 ・ 個人消費は、一部で底入れの兆しがうかがえるものの、総じて低調な推移となっている。 ・ 生産は、海外景気の減速から輸出関連を中心に弱含んでいる。 ・ 雇用情勢は、島根県は概ね横ばいとなっている。 ・ 企業の業況判断は、足元、非製造業がやや改善したものの、製造業が悪化したことから、全産業で悪化(▲12→▲16)となった。先行きについては、製造業、非製造業ともに悪化(全産業▲16→▲26)の見通し(日銀短観12月)。
島 根 県	「島根県の経済情勢（財務省松江財務事務所）」平成24年10月31日(四半期ごとに公表)
	<p>～県内経済は、一部に弱い動きがみられるものの、おおむね横ばいとなっている～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人消費 緩やかに持ち直してきているものの、一部に弱い動きがみられる。 ・ 生産活動 一部で減速感がみられるものの、おおむね横ばいとなっている ・ 雇用情勢 厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きが続いている ・ 公共事業 前年度を上回っている ・ 設備投資 24年度は減少見通し ・ 企業収益 24年度は増益見通し

経済指標の推移

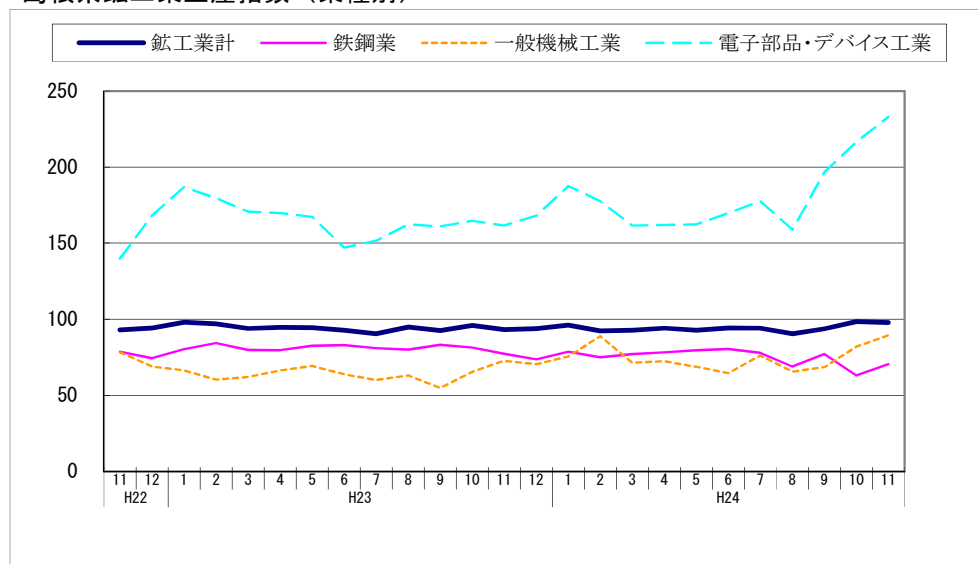
【生産活動】 ～横ばい圏内の動き～

鉱工業生産指数（季節調整済 平成17年=100）



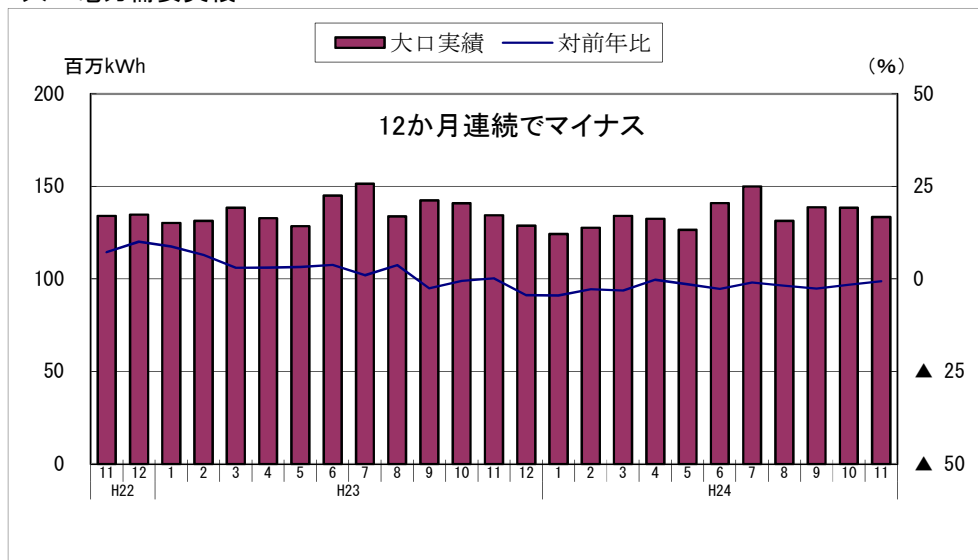
(注) 対前年比は、島根県の実指数 (県統計調査課、経済産業省)

島根県鉱工業生産指数（業種別）



(県統計調査課)

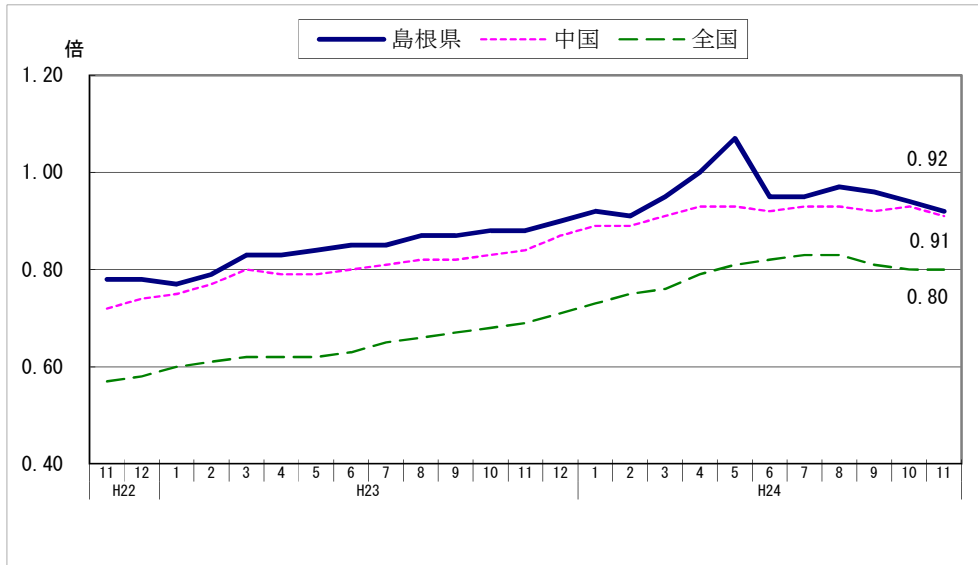
大口電力需要実績



(中国電力株)

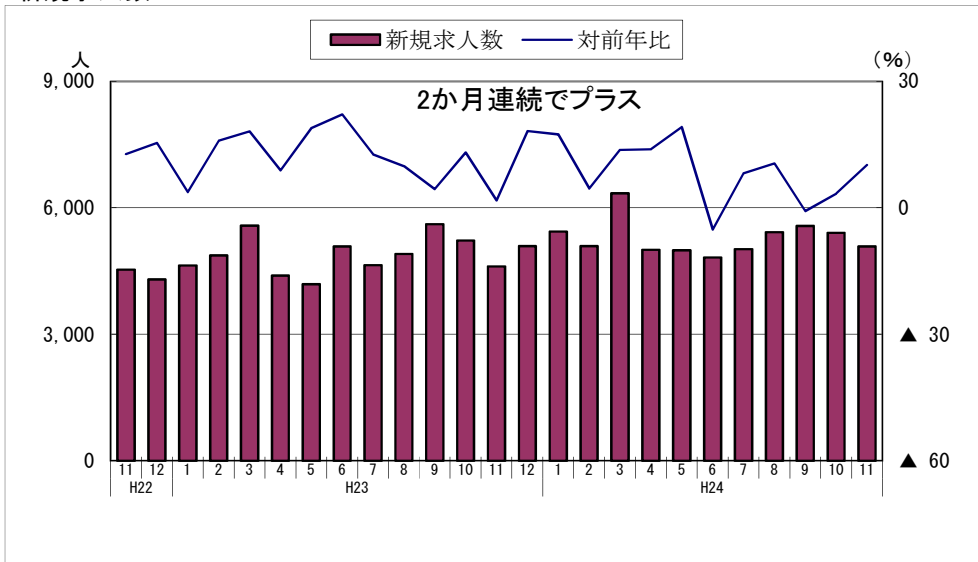
【雇用情勢】 ～持ち直しの動きが足踏み～

有効求人倍率（学卒を除き、パートを含む）



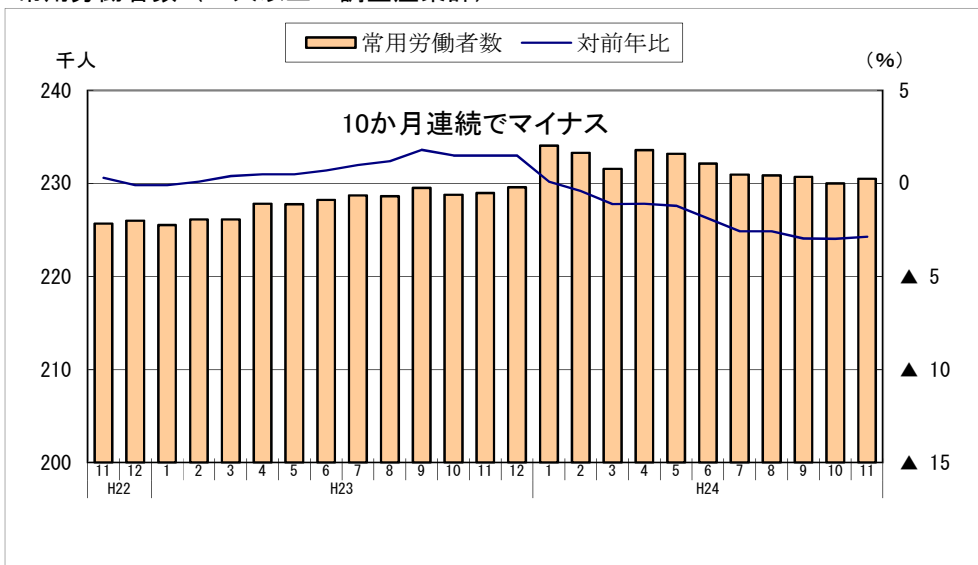
(厚生労働省)

新規求人数



(島根労働局)

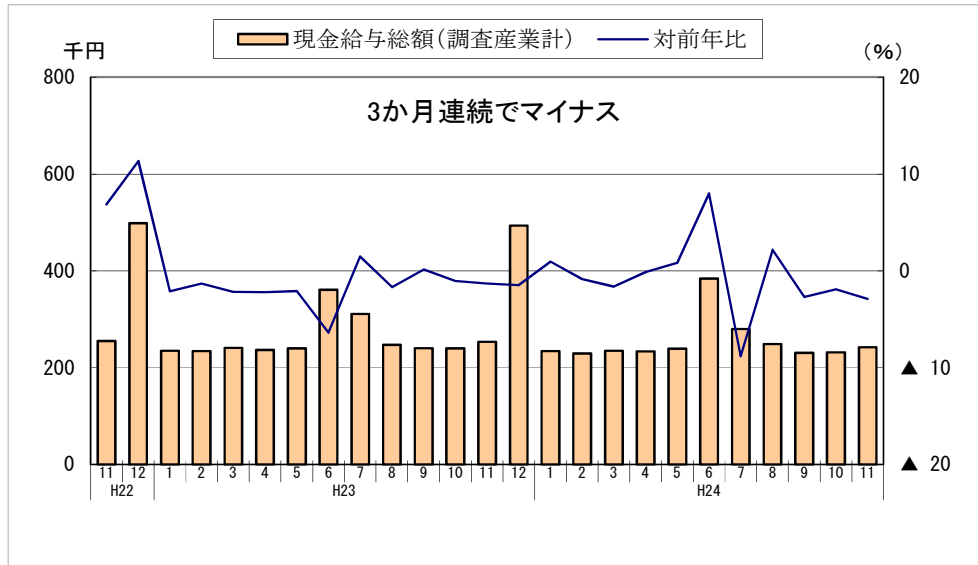
常用労働者数（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

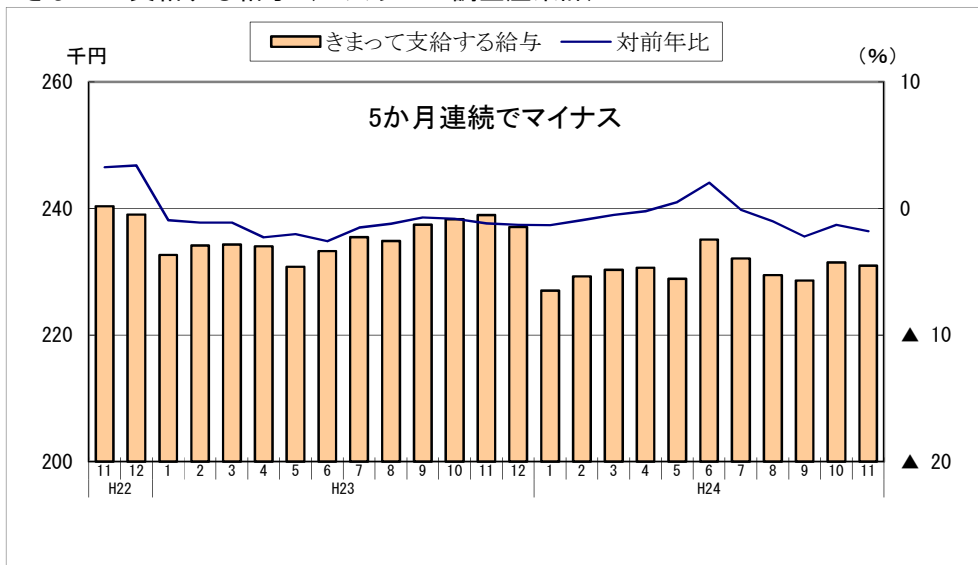
【雇用情勢】 ～持ち直しの動きが足踏み～

現金給与総額（5人以上・調査産業計）



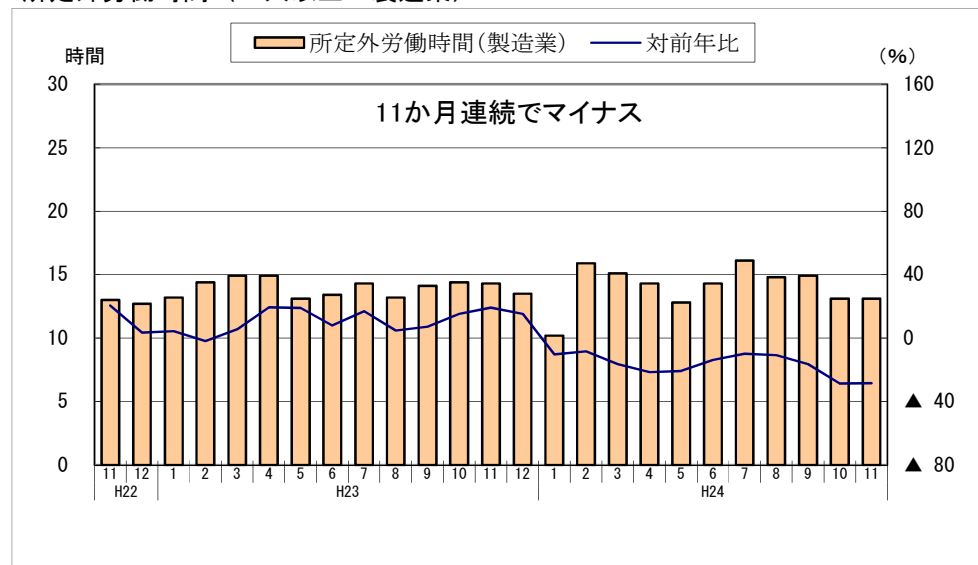
(県統計調査課)

きまって支給する給与（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

所定外労働時間（5人以上・製造業）

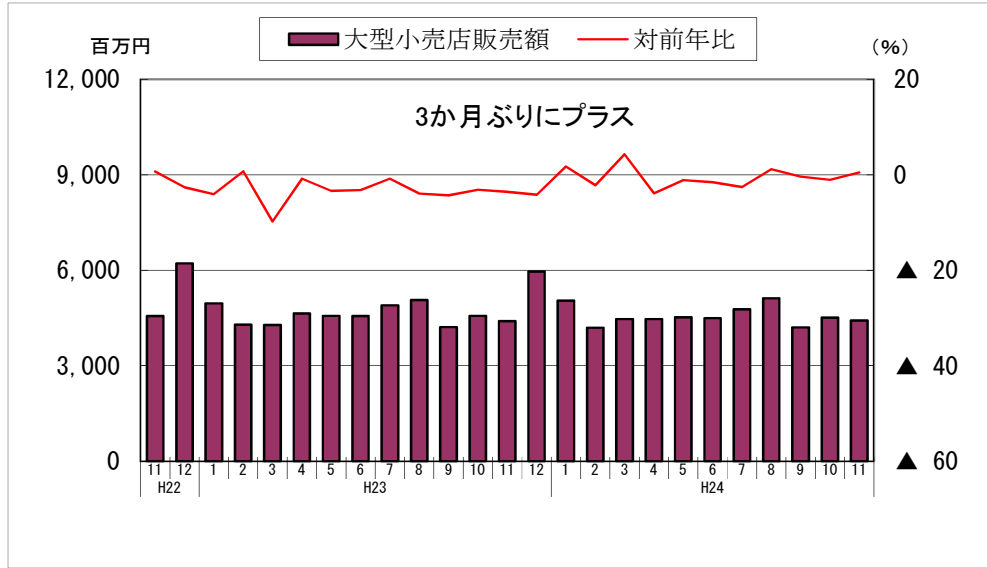


(県統計調査課)

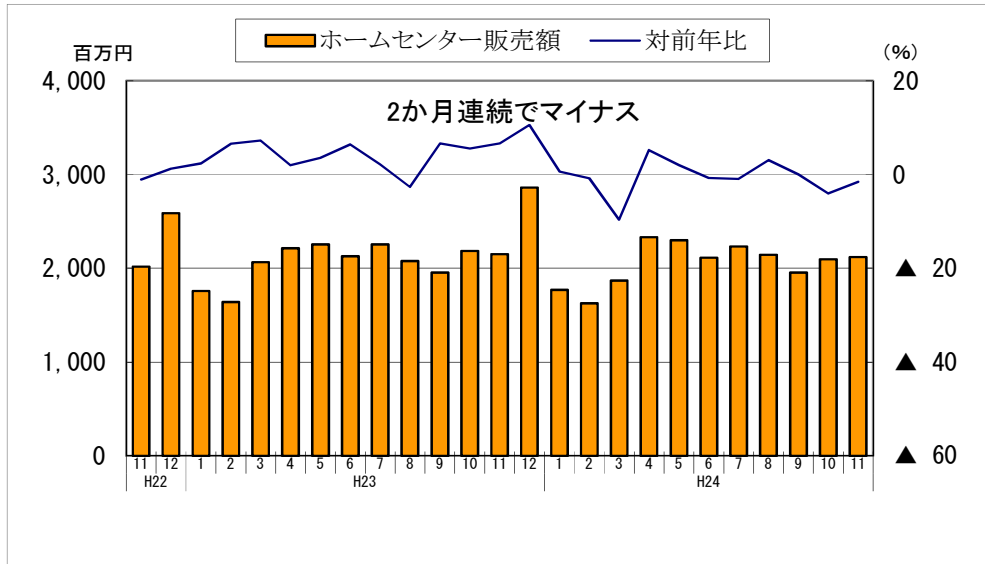
【 個人消費 】

～横ばい圏内ながら一部に弱い動き～

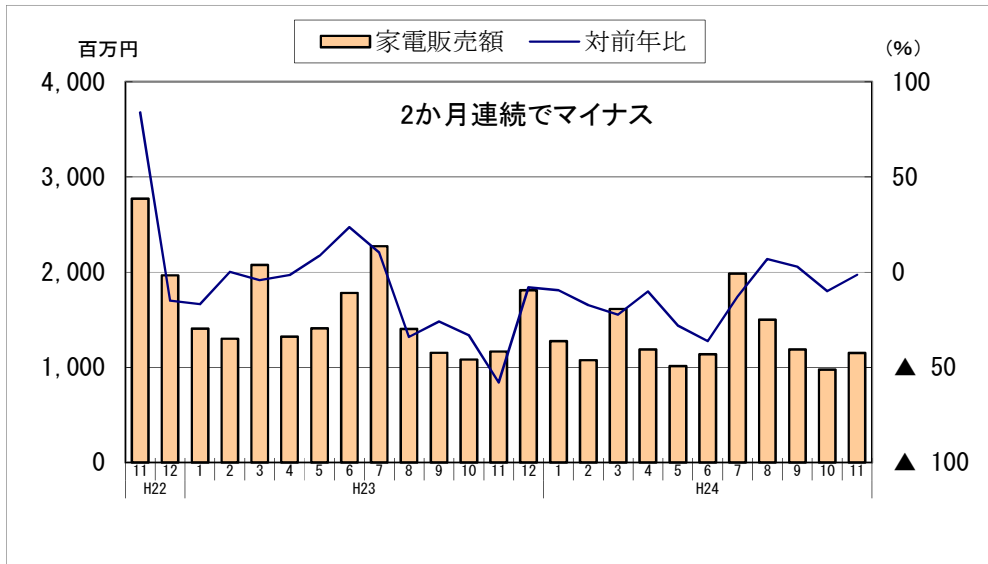
大型小売店販売額



ホームセンター販売額



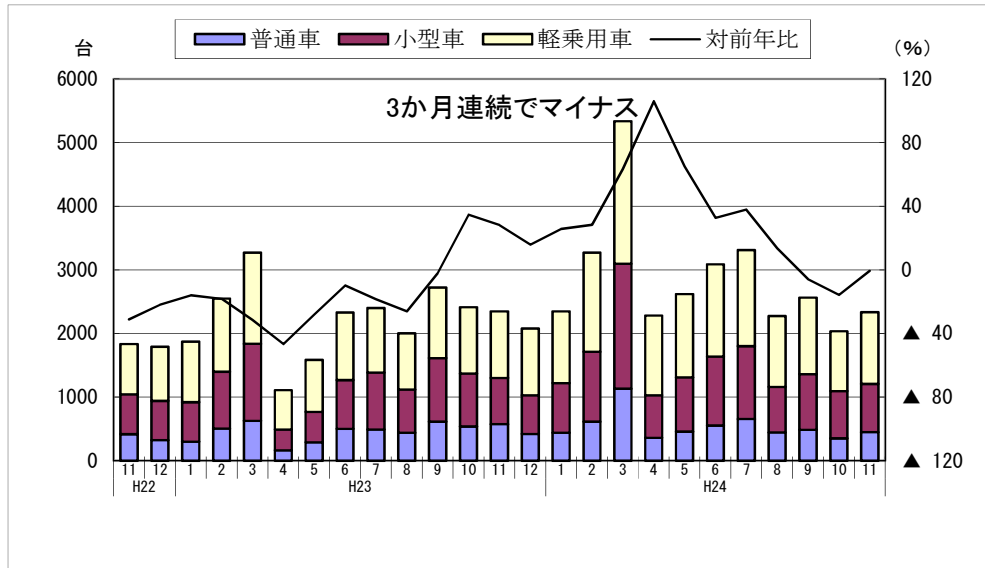
家電量販店販売額



【 個人消費 】

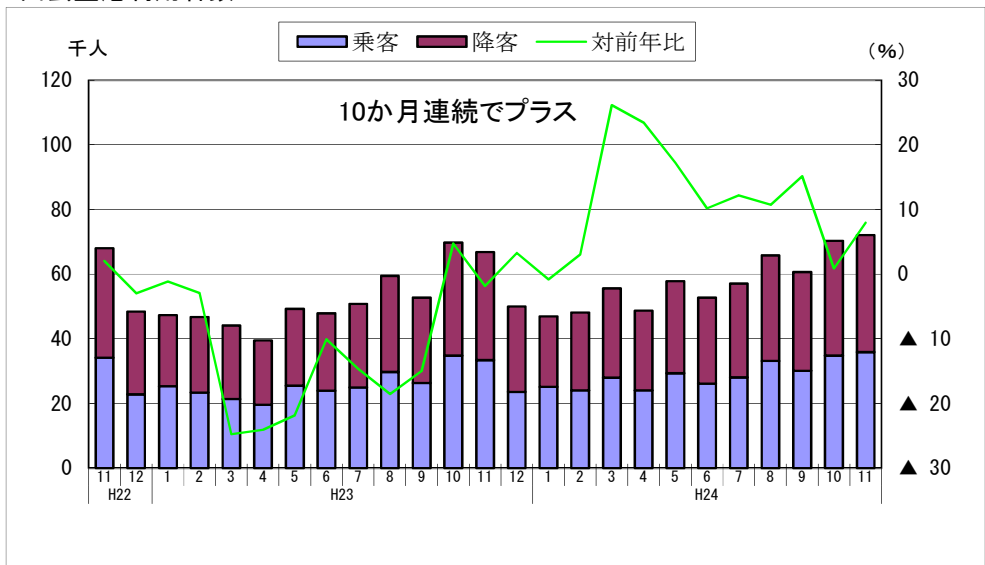
～横ばい圏内ながら一部に弱い動き～

乗用車新車登録台数



(中国運輸局)

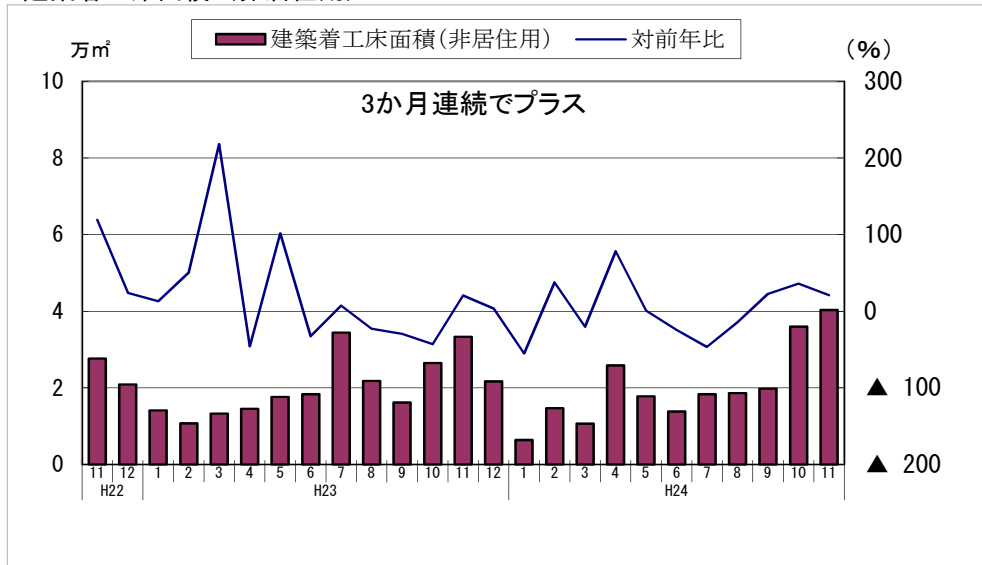
出雲空港利用者数



(県港湾空港課)

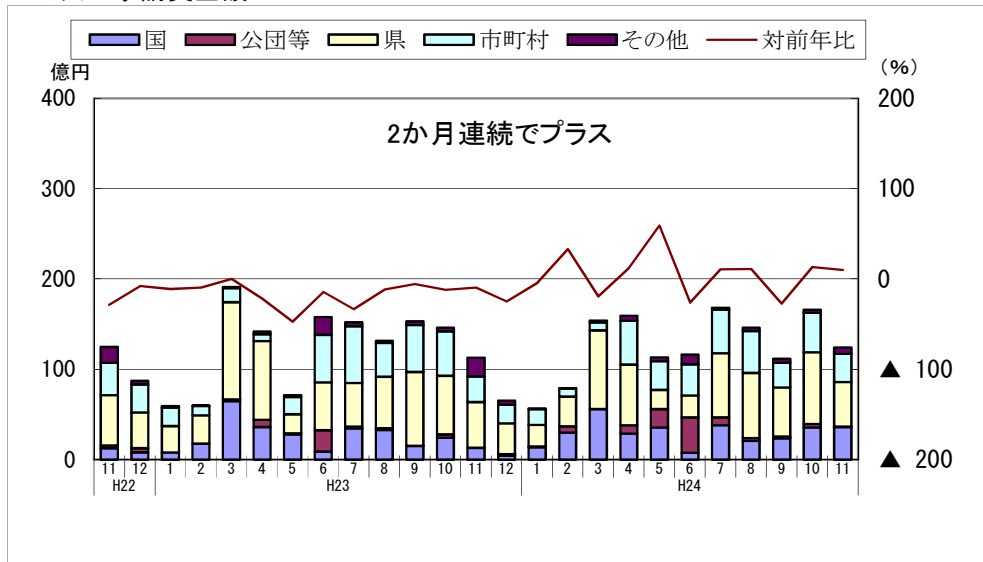
【 投資動向 】 ～下げ止まっている～

建築着工床面積（非居住用）



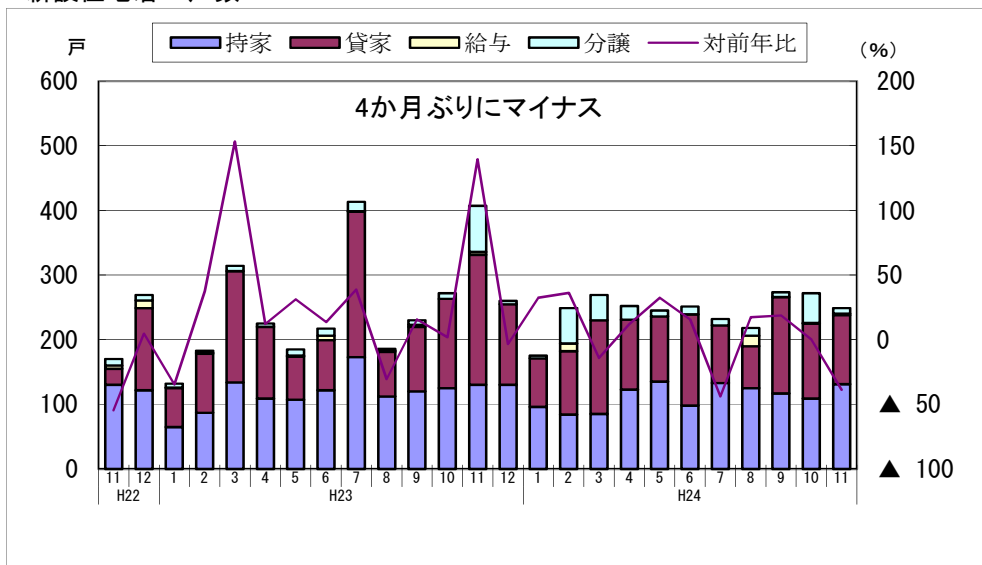
(国土交通省)

公共工事請負金額



(西日本建設業保証株)

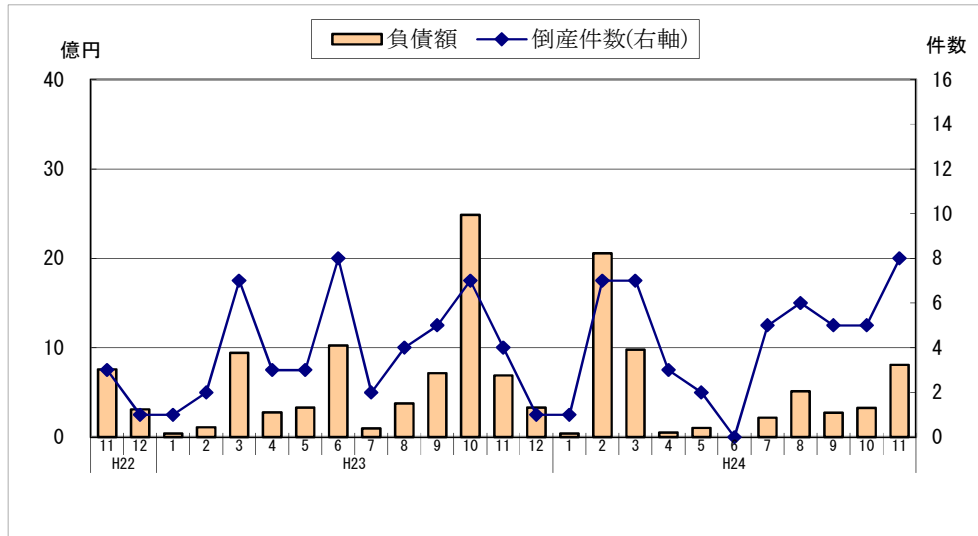
新設住宅着工戸数



(国土交通省)

【 企業倒産 】 ～倒産件数 8 件～

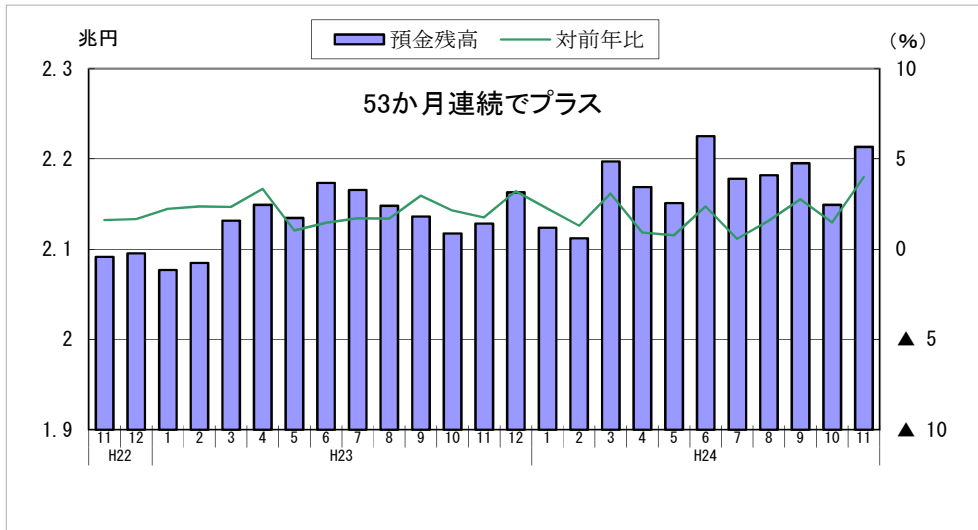
企業倒産件数、負債総額



(株)東京商工リサーチ

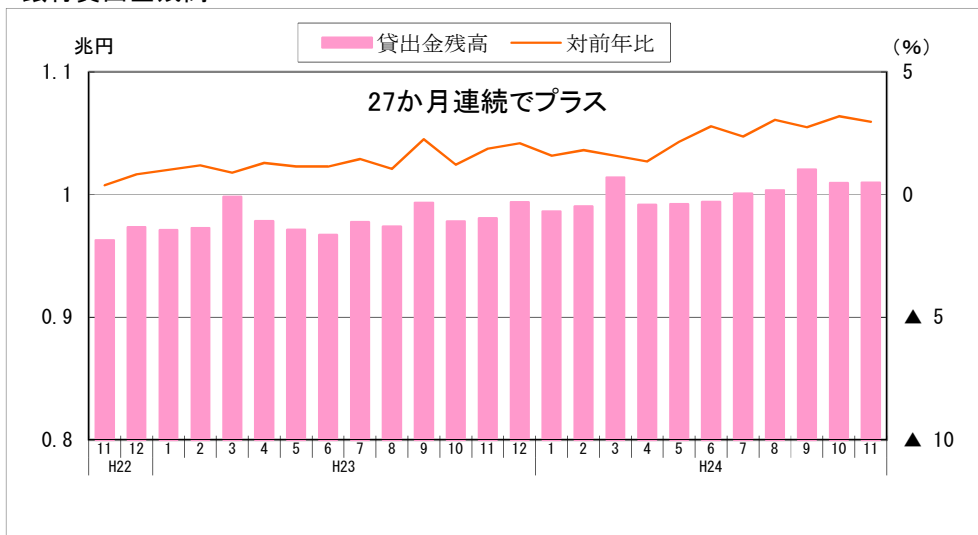
【 金融情勢 】 ～貸出金残高は対前年3.0%増～

銀行預金残高



(日本銀行)

銀行貸出金残高

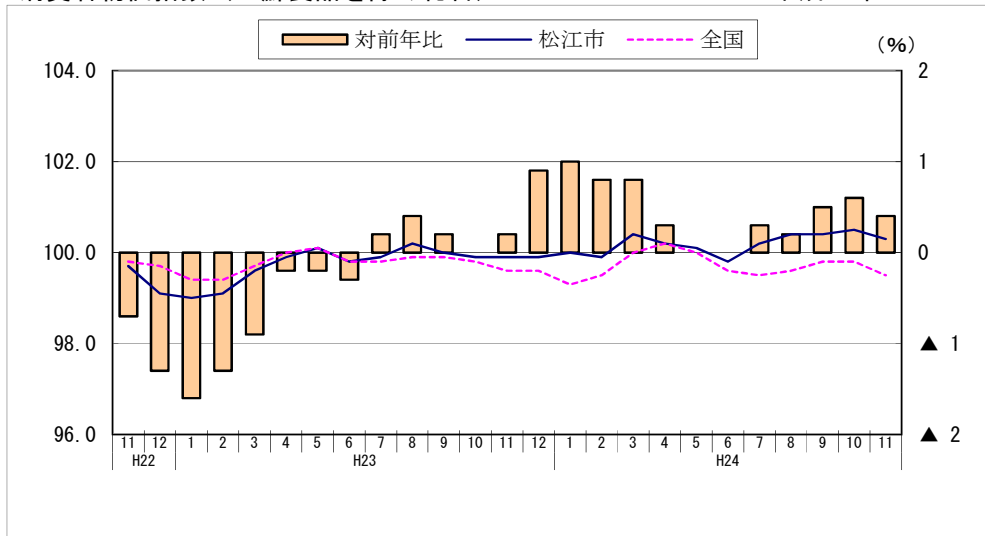


(日本銀行)

【物 価】 ～対前年0.4%上昇～

消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）

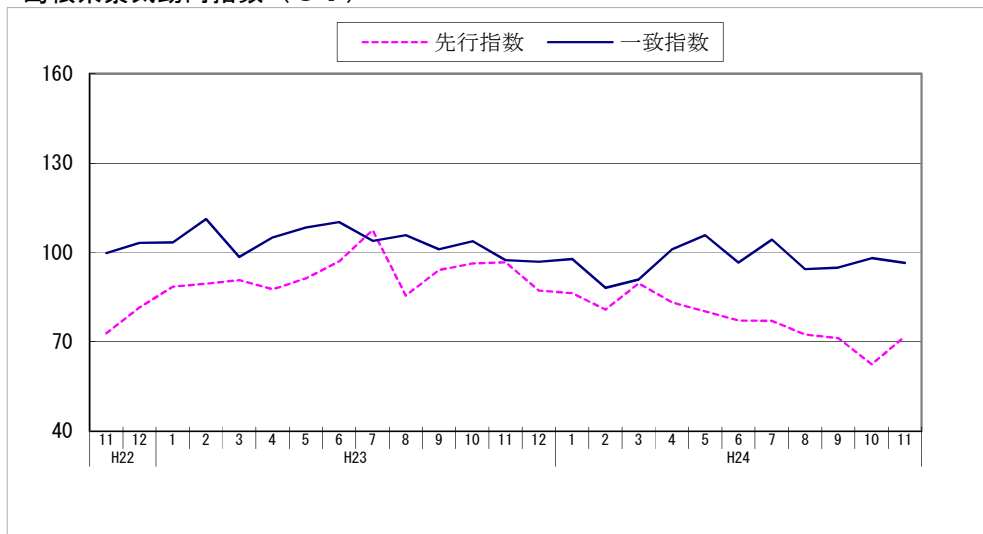
平成22年=100



(総務省統計局)

その他(参考)

島根県景気動向指数 (C I)



(県統計調査課)

法人企業景気予測調査結果 (平成24年12月10日 財務省松江財務事務所)
平成24年10～12月期調査

景況判断BSI

(BSI: 前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)

(%ポイント)

区 分	24年7～9月 前回調査	24年10～12月 今回調査	25年1～3月 見 通 し	25年4～6月 見 通 し
全 産 業	▲ 13.7	(9.8) ▲ 6.9	(▲13.7) ▲ 9.8	5.9
製 造 業	▲ 26.5	(8.8) ▲ 14.7	(▲11.8) ▲ 8.8	5.9
非製造業	▲ 7.4	(10.3) ▲ 2.9	(▲14.7) ▲ 10.3	5.9
大 企 業	▲ 25.0	(▲12.5) ▲ 25.0	(0.0) ▲ 12.5	0.0
中堅企業	▲ 11.4	(22.9) 8.6	(▲17.1) ▲ 17.1	20.0
中小企業	▲ 13.6	(5.1) ▲ 13.6	(▲13.6) ▲ 5.1	▲ 1.7

※ () 書きは、前回 (24年7～9月期) 調査時の見通し。